

令和5年市政主要ニュース

1 円形劇場くらししフィギュアミュージアムが開館5周年（4月7日）

地元主体での商業まちづくりを行うため、地元住民・企業・関係団体との協力により新たに設立された円形劇場が、旧明倫小学校校舎をフィギュアミュージアムとして整備・開館してから5周年を迎えました。子どもや大人が世代を超えて楽しめる、倉吉のポップカルチャーの拠点として親しまれています。

2 特別展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」開催（4月8日～5月7日）

4月8日から5月7日の間、倉吉博物館において、人気絵本作家・ヨシタケシンスケさんの創作活動をテーマにした特別展「ヨシタケシンスケ展かもしれない」を開催し、県内外から28,377人の来館者がありました。

3 旧国鉄倉吉線廃線跡観光案内所オープン（4月29日）

“日本一美しい廃線跡”と称される旧国鉄倉吉線廃線跡は、幻想的な竹林と廃線の風景が注目を集め、関心を代表する観光スポットとなっています。観光関連団体等との連携、地元の協力を得ながら、観光客増加に伴う受入環境整備の一環として観光案内所を開設しました。

4 小田急電鉄と連携し「ひとを育て、まちを育てる、くらしし倉吉プロジェクト」スタート（6月～）

地方創生の一環として、人材育成を核として、地域の魅力発見事業、デジタル人材育成事業、バーチャル倉吉事業の4つの事業を連動させ、関係人口やデジタル関係の雇用創出をおこなう長期プロジェクトが小田急との連携によりスタートしました。

5 第45回倉吉打吹まつり「倉吉じんしょ」が62年ぶりに復活（8月5日）

市制70周年の記念事業として、第45回倉吉打吹まつりで「倉吉じんしょ」が62年ぶりに復活。藤カズラを編み上げて製作した全長40メートル、約2トンの大綱を総勢150人で引き合い、大熱戦を繰り広げました。

6 令和5年台風第7号による大雨被害発生（8月15日）

令和5年8月15日に上陸した台風第7号の影響で、鳥取県では台風周辺の暖かく湿った空気が流れ込んだため、鳥取市に大雨特別警報が発表されるなど記録的な大雨になりました。倉吉市では、各地で土砂災害や浸水被害が発生し、農地や林道などの災害は激甚災害に指定されました。

7 故・廣川仁さんに名誉市民の称号を贈呈（10月29日）

食品トレイなどのプラスチックパッケージを製造する会社(株)エースパックの創業者である、故・廣川仁さんに10人目の倉吉市名誉市民の称号が贈呈されました。廣川さんは雇用の創出だけでなく複数年度にわたり市に多額の寄附をされ、地域の産業振興に大きく貢献したことが顕彰されました。

8 県立美術館開館500日前イベントで開館日発表、開館に向けた機運が高まる（11月5日）

開館に向けて工事が進む鳥取県立美術館でイベントが行われ、開館日が令和7年3月30日と発表されました。開館に向けた機運醸成を図るため、市内団体、企業等が、「美術館のある未来のまち」をテーマにした巨大ジオラマの作成、倉吉商工会議所青年部と倉吉北高等学校がコラボしたアート飯の開発、上灘小学校児童が全国県立美術館紹介パネルを作成などを行いました。

9 倉吉市・羅州市国際都市間姉妹結縁協定締結30周年記念交流実施（11月6日～7日）

倉吉市・羅州市国際都市間姉妹結縁協定が30周年を迎え、羅州市長、議長他行政職員をお迎えし、新たに交流宣言を結びました。羅州市の方々には倉吉市内の観光地、農業施設を見学していただき、小学生と交流給食を行いました。

10 市制施行70周年 式典や「NHKのど自慢」など記念事業相次ぐ（通年）

倉吉市は令和5年10月1日に市制施行70周年を迎えました。記念式典と第19回倉吉天女音楽祭（10月29日同時開催）、NHK全国放送公開番組「NHKのど自慢」（11月26日）など、節目を祝うイベントが相次いで開催され、市民と共に祝いしました。